

(法第28条第1項関係様式例)

令和3年度事業報告書

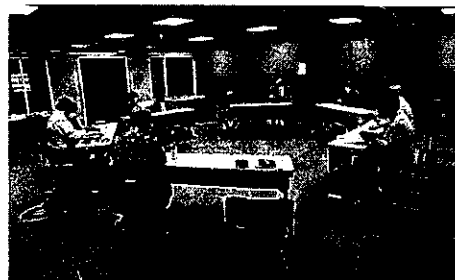
令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで

(特定非営利活動法人の名称) NPO法人 熊本まちなみトラスト

1 事業の成果

NPO法人熊本まちなみトラスト（KMT）は、平成28年熊本地震から1年後の2017年5月に同名の任意団体からNPO法人化し、令和3（2021）年度は第5期の事業年度となりました。

【理事会】 理事会は、幸い感染者数が減少した時に当たったので2ヶ月に一度、偶数月にすべてがリアル会議で開催できました。



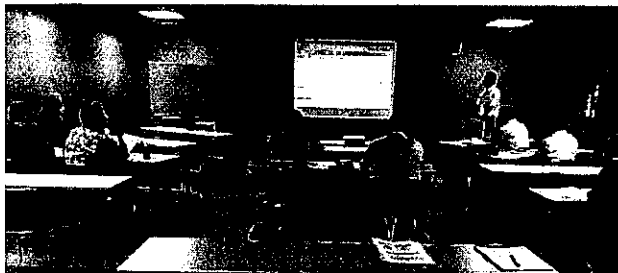
4/26 理事会

【運営会議・事務局会議】 運営会議はすべて ZOOM でのリモート開催、事務局会議は少人数ですのでリアル会議を続けました。



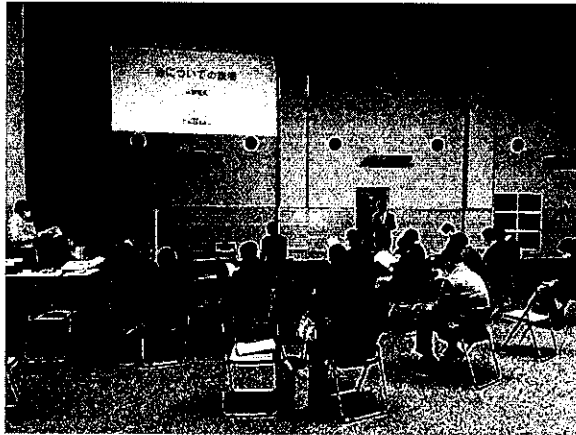
9/21 運営会議

【例会／歴まち部会】2021年度の活動方針を日常活動の充実に置き、奇数月の7月、11月、3月に会員外にも呼びかけた例会を開催しました。5月、9月1月はコロナ感染防止対策で順延しました。



7月例会@パレア会議室

【遺産ネット部会】 遺産ネット部会は、地域遺産ファンクラブの発足準備会として活動が続けられ、11月21日の発会（設立総会）として実を結びました。



11/21 地域遺産ファンクラブ
設立総会

【財政交流部会】 法人会員拡大への動きを起こしました。また、10月から1月までの4ヶ月間、事務局を熊日びぶれす会館コワーキングスタジオ（Bスタ）に置くという試行事業も行いました。3大学合同の学生まちづくり交流会もBスタで開催しました（11/20、12/23）。

【調査研究活動】 吉田松花堂の建物実測調査および文化庁への報告書作成にKMTの6人の理事が調査委員会に加わって取り組みました。その他、熊本市京町の佐々木邸や神水本町の池上邸、玉名市・伊倉の池部邸、阿蘇・市ノ川の孤風院など登録文化財を目指した調査や所有者との相談会を開催しました。

【被災文化遺産の復旧支援活動】 2020年南九州豪雨災害からの復旧支援の助成を受けていた日本財団の事業がコロナ禍特例で繰越が可能となったので2021年9月から10月にかけて球磨村一勝地の焼酎蔵へ人員派遣を行いました。

【日本都市計画家協会主催の全国まちづくり会議熊本分科会】 その球磨村一勝地の焼酎蔵と平成28年熊本地震からの復旧工事を終えた熊本市西唐人町の清永本店を会場として、2011年東日本大震災から10年目のイベントの日に全国に向けてリモート配信しました（5月25日）。



5/25ZOOMで全国配信@熊本会場・清永本店



球磨村会場・一勝地焼酎蔵

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
1 歴史文化 遺産の顕 彰事業	7月例会 「熊本県文化財大綱」 学習会	7/26	パレア 会議室	3	会員及び 法人会員職 員 14人	82
	11月例会 「熊本市『郷土文化 財』」学習会	11/22	パレア 会議室	3	会員を中心 に 15人	
	3月例会 「洋画家田代順七が 描いた昭和の熊本」	3/28	パレア 会議室	2	会員11人、 会員外6人 合計17人	
	地域遺産ファンクラ ブの設立準備会と設 立総会の開催支援	準備 4/14～ 8/31 6回 設立 総会 11/21	文林堂 地下ホ ール等 カリー ノMS ビル	10 20	新町古町地 域住民	
2 歴史文化 遺産の保 存・活用 を促進す るための 事業	球磨村焼酎蔵に復旧 作業員の派遣 (日本財団補助)	9/15～ 10/20	球磨村 一勝地	9	被災文化遺産 所有者 1人 人吉球磨地域 の観光関係者	583
	熊本市神水・池上邸の 保存相談、懇親会	12/25	熊本市 神水町		同邸の後継 者(上村様) ご家族3人 (登録文化 財になれば) 全県民	145

	阿蘇市ノ川・孤風院の 保存相談		熊本市 中央区 京町 当会事 務局	2	所有者後継 者 3 人 (登 録文化財に なれば) 全県 民	
	佐々木邸の保存相談、 現地調査		現地(熊 本市中 央区京 町)	2	所有者者 1 人 (登録文化 財になれば) 全県民	
	吉田松花堂保存のため の実測調査、報告書 の作成	5/2～3 月 末 まで 9 回	見地及 び熊本 大学建 築学科 伊藤研 究室	6	所有者、後継 者の 2 人お よび(重要文 化財指定な れば) 全県 民、全国民	
3 歴史文化 遺産の顕 彰・保 存・活用 に関する 広報・出 版事業	ホームページ、 facebook、twitter の運 営	令和 2 年 4 月 ～ 令和 3 年 3 月		3	熊本県市民 活動に連帯 する不特定 多数	83
4 歴史文化 遺産を活 用した不 動産事業	今年度は活動無し					0
5 歴史文化 遺産活用 のための 物品販 売・サー ビス事業	今年度は活動無し					0
6 その他当	今年度は活動無し					0

法人の目的を達成するために必要な事業						
合 計						893

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。

法人名: NPO法人 熊本まちなみトラスト

令和3年度 活動計算書

2021 年 4 月 1 日 ~ 2022 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	420,000	
賛助会員受取会費	36,000	456,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	161,000	161,000
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	0	0
4. 事業収益		
A事業収益(歴稚文化遺産の顕彰事業)	0	
B事業収益(保存活用推進事業)	0	
C事業収益(広報出版事業)	0	0
5. その他収益		
受取利息	14	
イベント会費・会場費清算金	14,920	14,934
経常収益計		631,934
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	0	
臨時雇い賃金	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
会場費	11,680	
諸謝金	3000	
旅費交通費	26,570	
消耗品費	110	
通信運搬費	22,620	
外注費	829,398	
その他経費計	893,378	
事業費計		893,378
2. 管理費		
(1)人件費		
給料手当	0	
役員報酬	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
会場費	31,070	
印刷製本費	117,700	
諸会費	29,330	
諸謝金	2,160	
消耗品費	9,604	
地代家賃	182,600	
通信運搬費	24,289	
租税公課	2850	
支払手数料	13,857	
機材費	1,340	
復興支援金(寄附金)	10,000	
備品費	182,965	
その他の経費計	607,765	
管理費計		607,765
経常費用計		1,501,143
当期正味財産増減額		△ 869,209
前期繰越正味財産額		1,931,289
次期繰越正味財産額		1,062,080

法人名: NPO法人 熊本まちなみトラスト

貸借対照表

2022 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,062,080		
流動資産合計		1,062,080	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,062,080
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
借入金注1	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,931,289	
当期正味財産増減額		△ 869,209	
正味財産合計			1,062,080
負債及び正味財産合計			1,062,080

法人名: NPO法人 熊本まちなみトラスト

財産目録

2022 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	0		
郵便貯金()	2		
振替口座()	1,000		
肥後銀行()	1,061,073		
肥後銀行()	5		
流動資産合計		1,062,080	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,062,080
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
借入金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			1,062,080

計算書類の注記(令和3年度)

1. 重要な会計方針

2010年7月20日

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によって

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

1) 京町事務局スペースの運営は、水道光熱費・電話・コピー機使用等を一括して月5万円の家賃として、予定だったが、「全体事業費が単年度赤字を出さない限り」という条件付であったため、今期の家賃支無しとした。コピー機使用料については、原価で前年度と今年度の2か年分を支払った。

2) 中央区新町2丁目の文林堂様には地下のホールを2021年7月まで地域遺産ファンクラブ準備会の会議室として無償で提供していただいた。

(3) ボランティアによる役務の提供

私たちの活動は会員のボランティアで成り立っています。今期は詳細の注記はしておりません。

基本的に「活動を実施する上で経費は負担するが、その労力は無料」との考えで運営しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	A事業費 (顕彰事業)	B事業費 (保存活動 事業)	C事業費 (広報・出版 事業)	D事業費	E事業費	事業費計
(1) 人件費						
給料手当	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						
会議費	11,680					11,680
諸謝金	3,000					3,000
消耗品費	110					110
通信運搬費	22,620					22,620
旅費交通費	950	25,620				26,570
外注費	43,698	703,200	82,500			829,398
						0
						0
						0
						0
						0
その他経費計	82,058	728,820	82,500	0	0	893,378
合 計	82,058	728,820	82,500	0	0	893,378

3. 固定資産の増減内訳

固定資産はありません。

4. 借入金が増減内訳

借入金ははありません。

5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
1 日本財団助成金	418,200		418,200	0	事業期間延長
2 J-Coin助成金	275,000		275,000	0	事業期間延長
3 消永本店復興基金	10,000		10,000	0	繰越分
合 計	703,200	0	703,200	0	